

令和5年度

事業報告

事業報告の附属明細書

社会福祉法人沼津市社会福祉協議会

目 次

第 1	地域福祉推進事業	1
第 2	一般福祉対策事業	6
第 3	福祉総合相談事業	14
第 4	福祉資金貸付事業	16
第 5	権利擁護事業	17
第 6	ボランティアセンター事業	19
第 7	共同募金運動推進事業	26
第 8	在宅福祉サービス事業	29
第 9	福祉サービス事業の受託運営	33
第 10	役員会等の開催状況	50
	事業報告の附属明細書	51

第1 地域福祉推進事業

1 地区社協活動の推進

地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」）は、中学校区を単位に市内 20 地区で組織されており、それぞれの地域ニーズに対応した福祉活動が展開されるよう、各種関係団体と連携しながら地区社協活動の育成支援に取り組んでおります。

（1）世代交流活動の実施

住民相互のふれあいと連携意識の高揚を図る目的で、高齢者宅へお弁当の配布やもちつき大会等、地区の特性に応じた地域交流活動実施の支援を行いました。

また、高齢者の買い物支援もふくめた住民主体の移動販売「町の駅」が 3 地区で開催され、子どもから高齢者まで多世代が交流する場の支援も実施しました。

（2）子育て支援活動の実施

子育てをしている親及び子どもを対象に、子育てサークル活動を通じて親同士の交流と地域で子育てを支えることを目的とした、支援活動が各地区で実施される際の支援を行いました。

（3）健康づくり講座の開催

地域住民の健康づくりのため、ラジオ体操、ノルディックウォーキング等、屋外でできる取り組みの支援、また、感染対策を講じ、ソーシャルディスタンスを保ったうえでの体操教室などの開催支援を行いました。

（4）在宅介護講習会等の開催

家庭内や地域社会の介護力を高めることを目的に、寝たきりや認知症の高齢者の介護について地域住民が相互に学習しあう講習会が、地域包括支援センター、保健師、福祉施設等の協力を得て、各地区で開催され、その支援を行いました。

（5）ボランティア活動の実施

住民主体の地域福祉の推進には、地域に根ざしたボランティア活動の実践が不可欠です。各地区社協では、高齢者等に対する様々なボランティア活動を展開しました。

（6）小地域ネットワーク活動の実践

緊急時に役立つ救急医療情報キットを高齢者の見守りのツールの一つとして普及・啓発活動を行いました。

（7）先進地視察研修

地域課題の解決に向け、先進地の取り組みを学ぶ視察研修を行いました。11 月 2 日に磐田市で住民主体の生活支援サービスを実施している見付地区社会福祉協議会「見付せいか

つ応援くらぶ」の立ち上げや運営状況について学びました。地区社協役員等 28 名の参加があり、沼津市内でも住民主体の生活支援サービスの創設にむけ、協議がはじまりました。

(8) 地域福祉ワークショップの開催

地域住民による地域課題解決のきっかけづくりとして、2月3日にサンウェルぬまづにて「住民同士のささえあいのカタチ」をテーマに実施し、地区社協役員を中心に 118 名が参加しました。デジタルを活用した見守りを実施している市内の事例報告を行い、地区社協や地域福祉に係る皆さまと地域ごとの特徴を生かした、これからの実践計画を検討しました。一部の地域では、このワークショップをきっかけのひとつとして、住民が気軽に集うことができる通いの場新設の協議がはじまりました。

2 生活支援体制整備事業の実施

生活支援体制整備事業は、介護保険法の中で高齢者が地域で自立した日常生活を送るための生活支援の充実・強化と、社会参加による介護予防の推進を一体的に図っていくことを目的とした事業です。

住み慣れた場所で健康で生きがいをもって暮らしていくために、それぞれの健康状態に応じて、介護予防や社会参加に努めながら必要な時に支援が受けられ、また、誰かが助けを必要とする時には、自分が支援する役割と出番のある地域づくりが必要になります。

令和5年度も沼津市社協が沼津市から委託を受け、市内全域（第1層）及び日常生活圏域（第2層）に「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を配置し、助け合い・支え合いを広げる仕組みづくりを推進しました。

(1) 高齢者の移動支援勉強会の開催

運転免許返納や路線バスの減少等により、移動困難者が増えている現状を踏まえ、住民同士の支え合いで行う移動支援の勉強会を6月10日に愛鷹地区にて行いました。

いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活する為には、免許を返納した後も、閉じこもりにならず、外出や人と交流する機会をもつことが重要です。公共交通機関の活用はもちろんのこと、住民同士の支え合いで行う移動支援の事例を学び、住民同士でできる事を検討しました。また、市内全域で課題となっている免許返納後の買い物支援について、行政、関係機関等と協議し、令和5年6月よりマックスバリュ東海による移動スーパーが市内 144 か所を巡回するようになりました。



(マックスバリュ東海による
移動スーパー)

(2) 協議体の開催

地域の関係団体等が集まり、福祉ニーズや課題の共有を行い、支え合いの仕組みづくりを検討する場「協議体」を市内各圏域で開催しました。

移動支援や生活支援サービスの検討、孤立孤独防止に向けた取り組み、いくつになっても住み慣れた場所で暮らせる地域づくり、居場所づくりなど、生活支援コーディネーターが進行役となり、様々なテーマで話し合いを行いました。

この話し合いを経て、新たな地域の居場所や、戸田地区で住民主体の生活支援サービス「戸田に住み続け隊・笑〜ら」が創設されました。

(3) 地域ささえあい講演会の開催

地域で活躍する人材を発掘し、本人の介護予防を図りながら地域活動へつなげることを目的に、9月9日にサンウェルぬまづにて、戸田地区の住民主体の生活支援サービスの実践発表を行い、地域住民等43名が参加しました。地域の生活支援活動を通じて、地域でちょっとした困りごとを抱えた方が助かり、また活動者自身も元気になる実践を聞き、具体的に活動の検討をはじめた参加者もいました。

(4) 居場所に関する相談支援、情報共有の実施

ふらっと立ち寄っておしゃべりをしたり、体操をしたり、趣味活動を行うなど、自宅以外のもう一つの拠り所である居場所づくりをしたい方への相談に応じ、立ち上げに向けた情報提供、支援を通年で行いました。また、12月5日には、居場所運営者同士の交流会を実施し、活動の継続や更なる活動の発展について情報交換を行いました。居場所を新たに立ち上げたい方も参加し、実践者の助言を得て、創設に向けた動きにつながりました。

(5) ICTの活用促進

高齢者の社会参加の方法として、スマートフォンやオンラインの活用は非常に効果的であることから、各地区で高齢者向けスマホ講座の開催の支援を行いました。令和5年度も飛龍高等学校の協力を得て、高校生がマンツーマンで高齢者にスマートフォンの使い方を伝授する講座を開催し、スマホの使い方のみならず、世代を超えた交流にもなりました。また、沼津信用金庫デジタルサポーターと連携し、各地区でのサロンやイベント等にてスマホ講座を開催しました。



(飛龍高校学生によるスマホ講座)



(沼津信用金庫職員によるスマホ講座)

3 住民参加型在宅福祉サービス事業（名称：「ちょいてつサービス事業」）

地域の中での制度では対応できない生活上のちょっとした困りごとを解決するため、地域住民が主体となり「できるときに、できることを、できる人が、ちょっとしたお手伝いをする」を合言葉に、ボランティアとして活動する“ちょいてつさん”が、支援を必要とする人“おねがいさん”の在宅生活のサポートをする会員制の地域助け合いサービスを行いました。

ちょいてつサービス活動状況

	R 5年度	R 4年度	R 3年度
おねがいさん（サービス依頼者）登録者数	185名	130名	73名
ちょいてつさん（ボランティア）登録者数	206名	183名	135名
実働数（1回30分）	3,279回	2,725回	1,310回

4 こどもの居場所づくりコーディネーター事業

こどもが一人でも安心して過ごせる、住民主体のこどもの居場所の創設・運営支援を実施しました。居場所創設に向けての相談や、居場所活動を応援する支援者・団体とのマッチング、居場所活動の周知や参加者募集に関する広報の支援等を実施しました。

令和5年度は、ダイドードリンコ㈱と飲料の売上げの一部がこどもの居場所へ寄付される「こどもの居場所応援自販機」の取り組みを開始し、市内に12台の自動販売機を設置し、その他企業からも食品や菓子、文房具等たくさんの寄付により、居場所に参加する子どもたちの元へ届けることができました。こどもの居場所は、新たに立ち上がった5ヶ所を加えた合計22ヶ所での活動となりました。

また、こどもの居場所づくりを行うボランティアを養成することを目的に、6月にボランティア養成講座を、7月にはこどもの居場所づくりセミナーを開催しました。5月と11月には居場所づくり実践者や関係機関との連絡会を開催し、居場所同士のネットワークづくりと協力関係の強化を図りました。



（ダイドードリンコ㈱と連携した
「こどもの居場所応援自販機」）



（企業から
クリスマスプレゼントの寄付）



5 「沼津市介護家族の会」への支援活動

家庭で高齢者の介護にあたっている人の当事者活動を育成、支援するために、関係者の協力により設立された「沼津市介護家族の会」が中心となって行う、介護家族のための茶話会、昼食懇談会、リフレッシュ交流会等の開催を支援しました。

令和5年度 沼津市介護家族の会への支援活動

	開催日・回数	参加人数
介護者リフレッシュ交流会	11月13日	15人
認知症介護家族のための茶話会	12回	延べ147人
昼食懇談会	2回	延べ30人



(介護者リフレッシュ交流会)



(認知症介護家族のための茶話会)



(昼食懇談会)

第2 一般福祉対策事業

※＜ ＞内は令和5年度の実績です。

1 援護事業（低所得階層対策等）

地域における社会福祉の一環として、低所得世帯などの自立更生と火災等被災世帯の問題解消を図ることを目的に、下記の法外援護の充実に努めました。

（1）医療援護

医療費の支払いが困難な低所得世帯に対する医療費援護は、令和5年度はありませんでした。 <0件/0円>

（2）災害援護

火災及び水害等により被災された世帯に対して見舞金を支給しました。

<火災 10件/100,000円>

<水害 119件/595,000円>

（3）緊急援護

緊急かつ一時的な生活困窮状態にある世帯に対し、供給停止状態もしくはそのおそれのある水道光熱費用等を支給しました。 <6件/60,000円>

（4）食料配布相談会の実施

学校給食が停止する夏休み中のこどもの食を守ることを目的に、8月4日に夏休みこどもフードボックス配布会を行い、107世帯へ食料品をお渡ししました。また、食支援をきっかけに子育てや生活に関する困りごとを把握し、適切な支援につなぐことを目的に、12月2日に食料配布相談会を行い、200世帯へ食料品の配布に併せ17世帯の困りごと相談に対応しました。

（5）食支援ネットワークの構築

ポストコロナや物価高騰等により食支援ニーズが増すなか、市内の支援者から集まる物資だけでは困っている世帯に食料品が行き届かない現状があります。企業や福祉施設、市民団体、こどもの居場所等と連携し、他県からの大口寄付を受け入れ、必要としている人へ食料品が迅速に行き渡るネットワークと環境整備に取り組みました。



（大手企業からの大口寄付受け入れ拠点
「フードバンクぬまづ」が令和5年6月創設）

2 児童福祉対策

民生委員児童委員協議会、子ども会育成連絡協議会ほか各種団体との連携を基に児童福祉対策の充実に努めました。

(1) ひとり親福祉対策事業助成

ひとり親世帯に対しては、母子及び父子並びに寡婦福祉法により、その生活の安定と向上のため援護施策が推進されており、これらの諸施策に協力するとともにひとり親会の運営について助成を行いました。

区 分		金 額
助 成 金	沼津市ひとり親会事業助成	35,000 円

(2) ヤングケアラー啓発事業

8月8日に「映画上映会と元当事者によるお話会」を開催し、41名が参加しました。ヤングケアラーを題材とした映画上映と元当事者による対談をとおして、参加者の中から自身がヤングケアラーであるという自己開示もあり、ヤングケアラーへの理解を深め、自身に何かできるのかを考える機会となりました。



3 高齢者福祉対策

本市においても、高齢化が急速に進む中、高齢者をめぐる環境や多様化するニーズに適応した高齢者福祉の充実に努めました。

(1) 老人クラブ活動事業に対する助成

老人クラブ運営基準に基づき、市に協力して沼津市老人クラブ連合会の健全運営の援助や老人クラブの活動育成を図るとともに、各種事業に助成しました。

区 分		金 額
沼津市老人クラブ連合会助成金	運営助成金	45,000 円
	行事助成金	100,000 円

4 心身障がい者福祉対策

心身障がい者施策の趣旨普及を図るとともに、関係団体の事業に対し助成を行いました。

(1) 車いすの貸出

在宅の高齢者や障がい者で緊急かつ一時的に車いすの借り受けを必要とする人、または福祉教育活動やボランティア活動を実施する学校やボランティアグループ等に対し、無償で車いすを貸し出しました。
<貸出件数/延べ 81 件>

5 福祉教育事業

(1) 福祉教育の推進

福祉講話及び体験型の福祉出前講座を実施しました。また、市内の学校等からの福祉教育に関する相談に対応しました。
<福祉出前講座/延べ 49 件>

令和5年度 福祉出前講座

日付	対 象	内 容
5/ 2	沼津市立開北小学校	講話「ユニバーサルデザインとバリアフリーについて」
5/10	沼津市立開北小学校	福祉体験「車いす、アイマスク・白杖」
5/11	沼津市立第三小学校	福祉体験「車いす、白杖」
5/16	沼津市立第五小学校	講話「福祉ってなんだろう」
5/18	沼津市立第五小学校	講話「ユニバーサルデザインとバリアフリーについて」
5/26	沼津市立第五小学校	福祉体験「アイマスク・白杖」
6/ 1	沼津市立第五小学校	福祉体験「車いす、高齢者疑似体験」
6/ 9	沼津市立大岡小学校	講話「福祉ってなんだろう」
6/14	沼津市立第五小学校	福祉体験「ポッチャ」
6/19	沼津市立片浜小学校	講話「福祉ってなんだろう」
6/28	沼津市立片浜小学校	福祉体験「車いす」
7/ 5	沼津市立片浜小学校	福祉体験「アイマスク・白杖」
7/12	沼津市立片浜小学校	講話「盲導犬利用者のお話」
		福祉体験「ポッチャ」
9/25	沼津市立大岡小学校	福祉体験「手話」
9/26	沼津市立浮島中学校	福祉体験「車いす、高齢者疑似体験」
9/29	沼津市立門池中学校	講話「福祉ってなんだろう」
10/ 2	沼津市立大岡小学校	福祉体験「点字」
10/ 6	沼津市立浮島中学校	福祉体験「点字」
10/16	沼津市立大岡南小学校	講話「福祉ってなんだろう」
10/17	沼津市立金岡小学校	講話「福祉ってなんだろう」
10/20	沼津市立大岡南小学校	講話「盲導犬利用者のお話」

日付	対 象	内 容
10/23	沼津市立片浜中学校	福祉体験「点字」
10/24	沼津市立大岡中学校	福祉体験「車いす」
10/24	沼津市立片浜中学校	講話「盲導犬利用者のお話」
		福祉体験「手話」
10/25	沼津市立門池中学校	講話「ユニバーサルデザインとバリアフリーについて」
10/26	沼津市立金岡中学校	福祉体験「車いす、高齢者疑似体験、白杖・硬貨、ボッチャ」
		講話「ユニバーサルデザインとバリアフリーについて」
10/27	沼津市立金岡小学校	福祉体験「車いす体験、白杖体験」
10/31	沼津市立浮島中学校	講話「盲導犬利用者のお話」
		福祉体験「手話」
11/2	沼津市立門池中学校	福祉体験「車いす、高齢者疑似体験、白杖・硬貨、ボッチャ」
11/6	沼津市立大岡南小学校	福祉体験「点字」
11/9	沼津市立門池中学校	福祉体験「手話」
11/10	沼津市立門池中学校	福祉体験「車いす、高齢者疑似体験、白杖・硬貨、ボッチャ」
11/11	沼津市青年教養講座受講者	ボランティア入門講話
11/13	沼津市立大岡南小学校	講話「福祉ってなんだろう」
11/16	沼津市立片浜中学校	福祉体験「車いす、高齢者疑似体験」
11/18	沼津市地域住民	ボッチャ交流大会
11/22	沼津市立千本小学校	福祉体験「車いすバスケ」
11/22	沼津市立片浜中学校	福祉体験「車いすバスケ」
11/27	つくば開成高等学校	講話「盲導犬利用者のお話」
11/30	沼津市立片浜中学校	福祉体験「車いす、高齢者疑似体験」
12/1	沼津市立第四小学校	講話「赤い羽根共同募金」
1/25	沼津市立門池中学校	講話「ボランティア活動について」
2/9	沼津市立第二中学校	福祉体験「高齢者疑似体験」
		講話「福祉ってなんだろう」
3/9	沼津市青年教養講座受講者	災害時におけるボランティアについての講話



(福祉体験「手話」)



(福祉体験「車いす」)

(2) 小学生福祉体験講座

7月22日に「キッズケア～未来の自分を見つけにいこう～」と題し、福祉の職業に対する理解を深め、普段の生活の中で、困っている人に対し、自分は何ができるのかを考えるきっかけ作りを目的に福祉に関連する職業体験を実施しました。参加した小学校4年から6年の74名の児童は、「管理栄養士」、「保育士」、「介護士」、「薬剤師」、「作業療法士」の中から選んだ職業の体験を楽しみながら福祉についても学ぶことができました。また、講座の内容を取りまとめた福祉体験新聞『福祉のこころはぐくみ新聞』を発行し、市内小学校に配布しました。



(福祉に関連する職業体験)



(市内小学校へ配布した福祉体験新聞)

6 広報啓発事業その他

地域福祉の中核組織として活動する沼津市社協に対する理解と協力を求めるとともに、市民の福祉意識高揚と地域活動の促進を図る目的で、種々の広報啓発活動に取り組みました。また、地域福祉の増進に向けた協定を締結し、各団体との連携の強化を図りました。

(1) 広報事業

沼津市社協の活動や種々の福祉情報を広く市民に広報するとともに、民間福祉活動に対する理解と福祉意識の高揚を図ることを目的に「社協だより」を4回発行し、沼津市全世帯に配布しました。また、市内の視覚障がい者を対象に「声の社協だより」を制作し、配布しました。このほか、市民の地域福祉活動への理解と参加を広めるために、広報啓発資料の作成、配布に努め、Instagram、Facebook、Twitter、公式LINEなどのSNSを活用し、広く市民へ情報提供を行いました。

(2) チャリティーバザーの開催

民間の地域福祉活動を推進し、市民に対する福祉意識高揚のための啓発事業として、沼津市赤十字奉仕団との共催で10月21日にサンウェルぬまづにてチャリティーバザーを開催しました。売上金650,234円は災害対策の準備金や地域福祉の推進に活用いたします。

また、ブックオフコーポレーション株式会社が行う、本・CD・DVDなどを回収し、その査定相当額が福祉活動に寄附される宅配買取寄附サービス「キモチと。」に取り組み、81,333円のご協力をいただきました。

(3) 第28回沼津市社会福祉大会開催

沼津市との共催により、第28回沼津市社会福祉大会を8月31日に開催し、すべての市民が主体的に福祉活動に参加し、地域福祉への理解を深め、互いに支え合う地域共生社会の実現を目指すため、福祉人材の発掘・育成に努め、地域の福祉力を育み、福祉サービスの充実強化を図ることで、ともにつながり、ともにささえあう、元気なまちづくりを目指すことが、大会宣言として採択されました。なお、多年にわたり社会福祉事業の推進に功績のあった243人の皆さまに対し、それぞれ表彰状と感謝状を贈呈しました。また、記念講演会として一般社団法人アスルクラロススポーツクラブ理事の芹沢 翼氏を講師にお招きし、アスルクラロ沼津が取り組んでいる地域貢献活動と、人材育成の観点から個々の心理タイプに合わせたコミュニケーション術についてお話いただきました。ほかにも、市内福祉施設等による自主製品の販売も行い、福祉に対する理解、啓発を行いました。



(式典)



(記念講演)

(4) 福祉施設地域福祉活動啓発事業

地域福祉推進のために福祉施設が持つ専門的機能・設備を地域社会への開放及び、福祉施設による地域福祉の啓発事業を促進することを目的とし、「沼津市福祉施設連絡協議会」を活動の中核として、6月23日に福祉施設連絡協議会施設長会議及び福祉研修会、11月29日に福祉施設職員研修交流会を開催しました。

(5) 地域福祉活動計画推進事業

第5次地域福祉活動計画の進捗状況の報告と委員による協議を行う、地域福祉活動計画推進委員会を3月19日に開催しました。推進委員等9名が参加し、ともにつながり、ともにささえあう、元気なまちづくりのための方向性の確認と、今後の展開について協議しました。

(6) 沼津夏まつり狩野川灯ろう流し参画

沼津夏まつり実行委員会の灯ろう流し部会に参画し、夏の狩野川の風物詩として市民に親しまれている狩野川灯ろう流しを、狩野川左岸河川敷にて7月28日に実施しました。

(7) 無縁仏慰霊法要の開催

沼津市仏教会の協力により、市営墓地に眠る無縁仏諸精霊の追悼会を7月3日に沼津市斎場にて開催し、関係者が列席する中、おごそかに法要が執り行われました。



(8) 耳の日記念講演会の開催協力

沼津市福祉事務所、静岡県立沼津聴覚特別支援学校、沼津市聴覚障害者の会と協力し、2月27日にサンウェルぬまづ多目的ホールにて、第68回耳の日記念講演会を開催しました。一般社団法人日本デフ陸上競技協会副会長の高橋 啓太氏を講師に迎え、「2025年東京デフリンピックに向けて～デフスポーツ指導者の思い～」と題して講演いただき、93名の来場がありました。



(9) 地域福祉の増進に向けた連携協定の締結

第5次地域福祉活動計画の基本目標である「ともにつながり、ともにささえあう元気なまちづくり」の実現のために、相互の資源を活用し、地域における住民の健康と福祉の増進のために、また、災害時の迅速対応が出来るよう、各団体と連携協定を締結しました。

令和5年度 連携協定等締結状況

	締結日	協定先
①	11/16	学校法人青淵学園 東都大学
	内容	沼津市社会福祉協議会と東都大学との物件貸借に関する契約 (災害資機材保管場所貸借)
②	11/25	沼津市
	内容	沼津市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定
③	3/15	沼津ライオンズクラブ
	内容	災害ボランティアセンター支援に関する協定



(沼津市との協定締結)



(沼津ライオンズクラブとの協定締結)

第3 福祉総合相談事業

市民の様々な福祉・生活相談に応じるとともに、適切な生活援助や福祉サービスに結びつけるために、福祉に関する総合相談事業を実施しました。

また、福祉総合相談所運営委員会を設け、相談機関連絡会の開催、相談員研修やケースケア検討会等を実施し、相談体制の充実と相談所の効果的な運営に努めました。

令和5年度 ふれあい福祉相談センター窓口

相談名	開設日時	開設場所	相談内容	
福祉総合相談所	福祉生活相談	土・日曜日・祝日・ 休館日を除く毎日 10時～12時 13時～15時 (電話最終受付 14時30分)	サンウェルぬまづ	生活上の心配ごとについての相談
	結婚相談	祝日・休館日を除く 第1・第4水曜日、 第2日曜日 10時～12時 13時～15時 結婚相談登録会(計3回) (女性専用相談室有り)	サンウェルぬまづ	登録制による結婚相手に関する相談
	健康・介護相談	祝日・休館日を除く 第1・第3水曜日 10時～12時	サンウェルぬまづ	本人及び家族の健康、持病との付き合い方や大病後の生活習慣、子どもの身体計など、健康や介護予防に関する相談

令和5年度 ふれあい福祉相談センター月別集計(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉生活相談	3	3	7	2	5	3	1	9	4	4	9	7	57
結婚相談	36	28	33	25	32	29	29	20	25	17	3	43	320
健康・介護相談	5	2	3	4	7	7	4	5	24	4	11	2	78
窓口貸付償還相談	124	175	124	152	198	136	232	184	174	129	155	300	2,083
合計	168	208	167	183	242	175	266	218	227	154	178	352	2,538

令和5年度 ふれあい福祉相談センター処理状況（件数）

相談内容	処 理 状 況					
	解決	継続	他機関 引継	他機関 紹介	その他	計
1 生 計	242	611	593	589	57	2,092
2 年 金	0	0	0	0	0	0
3 職 業 ・ 生 業	0	0	4	0	2	6
4 住 宅	0	0	1	1	0	2
5 家 族	1	7	3	3	0	14
6 結 婚	0	287	0	1	34	322
7 離 婚	0	0	1	0	0	1
8 健 康 ・ 衛 生	0	4	0	0	74	78
9 医 療	0	1	3	2	0	6
10 精 神 保 健	0	0	0	0	0	0
11 人 権 ・ 法 律	0	0	0	0	0	0
12 財 産	0	1	0	1	1	3
13 事 故	0	0	0	0	0	0
14 児童福祉・母子保健	0	0	0	1	0	1
15 教 育 ・ 青 少 年	0	0	0	0	0	0
16 心身障がい者(児)福祉	0	1	0	0	0	1
17 母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0	0
18 高 齢 者 福 祉	0	0	2	2	1	5
19 苦 情	0	0	1	1	0	2
20 そ の 他	1	3	0	1	0	5
合 計	244	915	608	602	169	2,538

第4 福祉資金貸付事業

※< >内は令和5年度の実績です。

1 高額療養費支払資金貸付

高額療養費の支払に困窮する国民健康保険の被保険者に対し、その経済的自立を助長し、その世帯の生活の安定を図ることを目的に、無利子での資金貸付を行い、低所得者の福祉向上に努めました。
<21件/3,371,733円>

2 生活福祉資金貸付

生活福祉資金貸付制度は、低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

また、特例貸付として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、減収となった世帯への貸付償還相談を実施しました。

令和5年度 生活福祉資金償還状況

区 分		件 数	金 額
緊急小口資金	コロナ特例初回 (償還免除)	96件	12,830,730円
総合支援資金	コロナ特例初回 (償還免除)	54件	26,389,000円
	コロナ特例延長 (償還免除)	73件	32,746,250円
	コロナ特例再貸付 (償還免除)	6件	3,000,000円
コロナ特例償還免除フォローアップ 合計		229件	74,965,980円

令和5年度 生活福祉資金貸付状況

区 分		件 数	金 額
緊急小口資金	本 則	0件	0円
総合支援資金	本 則	0件	0円
教育支援資金	教育支援費	1件	69,570円
	就学支度費	2件	474,430円
合 計		3件	544,000円

3 臨時特例つなぎ資金貸付

離職者を支援するための公的給付制度または公的貸付制度を申請している住居の無い離職者に対して、交付を受けるまでの当面の生活費を貸付けることにより、その自立を支援することを目的とした制度です。
<0件/0円>

第5 権利擁護事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、権利や利益が守られ、安心して生活できる環境が必要です。そのためには、地域住民の権利擁護意識の高揚や日常生活自立支援事業などの福祉サービスの実施、市民後見人の育成を含めた成年後見制度の推進が必要です。これら各事業の充実と推進を行いました。

1 日常生活自立支援事業（静岡県社会福祉協議会委託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力に不安があるため、福祉サービスの利用の仕方が分からない人、預貯金の出し入れに困っている人等を対象に、福祉サービスの利用手続き、公共料金の支払い手続き、金銭管理の援助、書類管理等を支援することを目的に、日常生活自立支援事業を進め、専門員による相談から契約締結に至るまでの手続きや、支援員による支援活動を提供しました。

2 成年後見事業（沼津市委託事業）

（1）沼津市成年後見支援センターの運営

「沼津市成年後見支援センター」において、沼津市民に対する成年後見制度の促進を図るため、広報、相談の窓口として運営しました。今後も周知活動を通じて適切な制度利用を推進していきます。

12月には、医療機関職員・介護支援専門員に向けた講演会を実施し、19名の皆さまに参加していただきました。業務都合により日中の参加が困難な方に配慮し、夜間開催としました。また、参加方法も会場参加とオンライン参加のハイブリッド型としました。

成年後見制度の促進において、様々な関係機関との連携が必須となることから、ネットワーク形成のため、成年後見制度推進協議会を開催し、事業の運営方針、事業の報告について意見を出し合いました。

（2）市民後見推進事業

成年後見制度において、現在、親族以外の第三者が後見人となるケースは全体の8割まで上昇しています。一方、第三者後見人を担う専門職の受け皿不足が制度推進上の喫緊の課題となっており、新たな担い手として市民後見人に大きな期待が寄せられています。

沼津市社協では、裾野市、長泉町、清水町の行政及び社協と協力し、2市2町成年後見事業推進委員会を設置し、推進委員会を広域分、沼津市分として各3回開催しました。

また、沼津市市民後見人支援センターとして、弁護士の方を講師としてお招きし、講義とグループワークの2部構成でフォローアップ研修を実施するなど、市民後見人候補者への支援に努めました。

市民後見人の活動も評価される中、沼津市では延べ11人の市民後見人が選任されています。

市民後見人 選任実績

年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度
新規選任人数	0人	1人	2人	2人	1人	3人
受任件数	0件	2件※	3件※	2件	1件	4件※

※同一の市民後見人が複数件を受任

3 法人後見の受任

第三者後見の担い手として市民後見人が推進される一方、法人による後見にもその役割が期待されており、特に社会福祉協議会には、日常生活自立支援事業で培った実績や住民との信頼関係を活かし、その役割を果たすことが期待されています。

沼津市社協においても法人後見を受任し、沼津市民の権利擁護を行いました。

第6 ボランティアセンター事業

ボランティア活動の基盤強化を重点に、ボランティア（個人・グループ）の育成援助並びに地域のニーズの把握に努めるとともに、機関紙等の発行啓発宣伝活動を進め、各種講座・行事の開催により市民のボランティア意識の高揚とボランティア活動への参加を促進しました。

1 ボランティアに関する相談援助活動

ボランティアコーディネーターを配置してボランティア活動に関する市民の様々な相談に応じるとともに、登録ボランティアの育成、支援並びにボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めました。公式LINEを活用しての情報発信も行いました。（令和5年3月31日現在、友だち登録者213名）

また、ボランティア活動の経験豊富なボランティア連絡協議会役員によるボランティア相談を毎月第1・第3金曜日に開催しました。

令和5年度 ボランティア相談受付状況（再来含む、件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談	8	4	10	4	3	9	3	9	4	12	13	7	86
依頼	13	7	18	9	11	13	12	9	13	6	6	2	119
合計	21	11	28	13	14	22	15	18	17	18	19	9	205

令和5年度 ボランティア登録状況

個人	団体
206人	91団体 1,780人

2 ボランティア育成研修

ボランティアの育成、研修を目的に、各種ボランティア講座、ボランティア学習プログラムを実施し、ボランティア活動の活性化に努めました。

（1）中高生ふれあい交流事業

2月23日に地域の中高生が、知的障がいのある子どもたちとの交流をとおして福祉課題について考え、ノーマライゼーションの視点を養う機会を設け、青少年ボランティアを養成することを目的に、中高生ふれあい交流事業を実施しました。参加した32人の中高生は、非営利活動法人こころのままの講師による障がいについての事前学習のあと、障がいのある子どもたちとのレクリエーションや創作活動を交えた交流を行い、相互理解を深めました。また、交流の様子を取りまとめた「福祉のこころはぐくみ新聞」を発行し、市内の中学校、高校に配布しました。



(創作活動)



(市内中・高校へ配布した福祉新聞)

(2) サマーショートボランティア活動計画

8月に学校の夏休み等を利用して、県内各地の福祉施設でボランティア活動を体験するサマーショートボランティアを、県ボランティア協会との共催により実施しました。沼津市内では中・高校生19人が参加しました。

(3) ちょいてつサービス養成講座

地域における福祉課題を学ぶと同時に、その福祉課題の解決のために活動する生活支援サービスの担い手である“ちょいてつさん”を養成する事を目的に、4月18日に東都大学沼津キャンパスの学生74名を対象に、また12月14日には門池地区センターにて地域住民4名が参加し、生活支援ボランティアの活動者を養成しました。また、既に“ちょいてつさん”として登録されている方を対象に、活動の理解を深めると同時に、活動に役立つ多様な実技や知識を学ぶための「フォローアップ講座」を11月6日に開催し、23人が受講しました。

(4) やさしい精神保健福祉ボランティア養成講座

市民の精神保健福祉に対する意識の向上を図り、共に生きる福祉のまちづくりの実現を目的に9月30日に実施し、28人が受講しました。専門家の講義と当事者の話を通じて、精神障がいや精神保健福祉についての理解を深めました。



(5) 子育て支援ボランティア養成講座

子育てを支えるボランティア活動の育成と組織化を図るため、子どもの居場所ボランティア養成講座を実施しました。今回は子どもの居場所で活躍するボランティアの養成を図り、市内の子どもの居場所の紹介や、子どもを招いてのパネルディスカッション「こんな居場所がいいな」を行い、第一地区や第二地区での子どもの居場所立ち上げにつながりました。講座は6月10日に開催し、36人が参加しました。



(6) 傾聴ボランティア講座

地域で孤立している高齢者、子育て中のお母さんなど、様々な問題を抱えている人たちの孤独の解消と地域福祉の推進を図るため、傾聴に必要な知識、相談技術の講習を行い、傾聴ボランティアとしての質の向上を図ることを目的として1月25日に開催し、33人が受講しました。



(7) 就労・生活支援ボランティア養成講座

主に生活困窮者を支える地域づくりとして、伴走型の就労や生活のボランティアを養成するために2月10日に講座を開催し、39人が参加しました。沼津市自立相談支援センター、社会福祉法人雄勝なごみ会、非営利活動法人青少年就労支援ネットワーク静岡から講師を招き、沼津市の現状、包括的生活支援に向けた就労支援のための地域づくり、市民ボランティアによる就労・生活支援について講義を行い、「私たち市民が困っている人のためにできること」をテーマとしてグループワークを行いました。今後の活動に前向きな参加者も多く、地域で生活に困窮している人のサポートを行うボランティアとして活躍することが期待されました。

（８）企業ボランティア養成講座

地域の困りごとに企業が社会貢献として関わられるように「企業の社会貢献セミナー」を3月2日に開催し、31名が参加しました。今回は食支援を主なテーマとし、実際に活動している地域の団体と、企業の実践発表を行いました。市内で活動する子どもの居場所団体からは活動する上での困りごとや今後やりたいことがあげられ、参加者は、企業や一人としてできることを真剣に考える機会となりました。

（９）沼津市災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時において効果的なボランティア活動を行うにあたり、ボランティアの受け付けや仕事の配分などの調整拠点となるボランティアセンターにおいて、中心的な役割を担うコーディネーターを養成する養成講座を6月25日、7月1日の2日間の日程で開催し、23人が受講しました。また過去の講座修了生に向けた学習機会と情報提供を目的とするフォローアップ研修会を12月17日に開催し、27人が受講しました。



（１０）技術系災害ボランティア（プロボノ）について知る講座

災害発生時に通常のボランティアでは対応が難しい、床板剥がしなどを行える特殊な知識・技能を持つ技術系ボランティアの活動内容について周知することを目的に3月24日に開催し、13名が受講しました。「しぞ〜か・まめっ隊」を講師に迎え、座学と体験学習を実施し、参加者からは、技術系ボランティア活動について知ることができた、実際に活動に参加してみたいとの感想がありました。



（技術の体験学習）

3 ボランティア交流・研修事業

東日本大震災被災地支援の一環として、沼津市ボランティア連絡協議会が10月21日のチャリティーバザー内で「東北震災支援物産展」を開催しました。また、会の運営のIT化を目的に、会員向けのスマホ勉強会を実施しました。2月には、静岡市で開催された静岡県ボランティア協会によるボランティア研究集会に参加し、講演や分科会など情報の交換をとおして、ボランティア同士のネットワーク作りの機会となりました。

4 ボランティアグループ等への活動助成事業

ボランティア活動中の不慮の事故に備え、安心してボランティア活動ができるよう、当ボランティアセンターの登録者に対し、ボランティア保険加入料の助成を行いました。

また、地域で種々のボランティア活動を継続的に展開しているボランティアグループへ、活動費の助成をしました。

令和5年度 ボランティアグループ助成実績

種別	対象	助成金額
ボランティア保険加入助成	341人	70,000円
ボランティアグループ活動助成	19グループ	915,000円

5 災害ボランティア活動

令和5年6月2日に、沼津市内は記録的な大雨に見舞われ、主に、原・浮島・大岡地区を中心に床上・床下浸水等、多数の被害が発生しました。沼津市社協では、被災された方の支援を行うため、同日に、災害ボランティアセンターを設置、6月5日に原地区センター内にサテライトを立ち上げ、沼津市、沼津市災害ボランティアコーディネーター協会、沼津青年会議所、アスルクラロ沼津、技術系災害ボランティア団体のしぞ〜か・まめっ隊、愛知人など多数の団体と協働し、被災者支援を行いました。ボランティアは、水没家財の運び出しや、室内清掃のお手伝い、床下水出し・乾燥等、様々な活動を行いました。6月18日には原地区センター内のサテライトを閉鎖し、以降はサンウェルぬまづ事務所内へセンター機能を移し、随時、ボランティアのニーズ受付、対応を行いました。

また、災害ボランティアセンターの運営には「赤い羽根共同募金災害ボランティアセンター一等支援資金」を活用し、日ごろ、皆様にご協力いただいている赤い羽根共同募金が、多くの被災者支援につながりました。

沼津市災害ボランティアセンター対応状況

対応ニーズ件数	196件（世帯重複あり）
ボランティア活動者数	498人（延べ人数）

◇沼津市ボランティアセンター登録のボランティア団体・グループ活動一覧

令和6年3月31日現在（休止中の団体除く） 順不同

No.	グループ名	活動内容
1	沼津市ボランティア連絡協議会	サンウェルぬまづでのボランティア相談（毎月第1・3金曜日）ほか
2	点訳グループ かたつむり	視覚障がい者のニーズに対応した点訳活動。点訳者養成講座の開催*
3	アイボランティア ひまわり	視覚障がい者のニーズに対応した支援活動。主に点訳*
4	拡大図書グループ ささぶね	視覚障がい者のニーズに対応した拡大図書制作活動。講習会の開催*
5	拡大図書グループ あい	視覚障がい者のニーズに対応した拡大図書制作活動。講習会の開催*
6	録音グループ こまどり	視覚障がい者を対象にしたテープを作成、市内の視覚障がい者宅への郵送
7	アイ・ボランティア 沼津木星会	視覚障がい者に関するボランティア活動（点字・拡大・録音）推進*印の連絡会組織
8	アイ・ボランティア すばるの会	視覚障がい者に関するボランティア活動（点字・拡大・録音）の推進
9	録音グループ オカリナ	視覚障がい者向けの録音図書を作成する*
10	阿頼耶識	視覚障がい者を対象とした朗読ラジオ番組の制作
11	東部手話サークル連絡会	東部地域の各手話サークルの交流・情報交換活動
12	NPO 法人 マム	障がい児（者）生活支援、障がい児療育支援、イベント企画
13	ひまわり GO!実行委員会	障がいのある人たちの、列車の旅の手伝いと交流
14	ほのぼの会	精神障がい者との交流。精神保健福祉の啓発活動
15	談話室こもれび	精神保健福祉に関する研修会、懇談会、ボランティア等の実施
16	ヒューマン・リレーション・クラブ	アドラー心理学をいかして地域の人たちの人間関係作りを支援する「勇気づけの会」を開催
17	ほっとカフェ文化村	音楽を通じて誰もが楽しめるサロン活動、住まいや暮らしの相談会
18	居場所 くるらの家	戸田地域の住民の交流の場。社会参加と介護予防に取り組む
19	傾聴ボランティア うさぎ	福祉施設や病院、個人宅に出向いての傾聴ボランティア活動
20	NTTロータスイーターの会	ロータスクーポン・古切手・ベルマークの収集、整理
21	沼津おもちゃ病院	子どものおもちゃの修理と簡易な手作りおもちゃ作成
22	古城流会	福祉施設・老人会等における講談活動
23	沼津奇術研究会	マジックショー、マジック教材使用によるレクチャー
24	静岡県けん玉連盟沼津けん玉クラブ	青少年健全育成を目的にしたけん玉の指導、普及活動
25	日本棋院沼津支部	各福祉施設及び学校での囲碁指導
26	沼津健康麻将協会	高齢者を対象とした健康麻雀。各地区老人会、施設等への出前講習
27	夢ある人づくり塾DSプエルト	中高年のセカンドライフを支援する交流拠点づくり
28	ぬまづ観光ボランティアガイド	沼津の観光振興とぬまづの宝100選を中心としたガイド
29	山城を楽しむ会	城のガイド、その他ツアー
30	興国寺城を語る会	ボランティアガイド、研修
31	高尾山古墳を守る会	高尾山古墳の保全活動の協力。高尾山古墳についての啓発活動
32	みやこ会	老人ホームや地域の老人会等への演芸サービス（踊り）
33	万里花会	高齢者施設への慰問（舞踊）、障がい児（者）施設へ盆踊りの指導や行事に参加（踊り）
34	沼津中央高校ダンス部	地域イベントを中心としたダンス活動
35	Nā Lima Ke Aloha	ハワイアンミュージック、フラダンスを通じたボランティア活動
36	フィットネスフラ Agua（アクア）	エクササイズ様式による健康増進活動、ボランティア活動への参加
37	レイナニフラ	敬老会・老人ホーム等での慰問活動、アロハライブ・チャリティーイベントの参加
38	沼津からALOHAを届けよう！	チャリティーイベントの主催、ビーチクリーンなどの清掃活動
39	レインボーハート	車椅子ダンスや民謡を踊り、ともに楽しむレクリエーションを行う
40	衣の会	福祉施設への訪問、行事への参加協力、舞踊
41	戸田漁師踊 漁師唄保存会	県指定無形民俗文化財の伝承、公開、訪問活動
42	沼津中央高等学校吹奏楽部	吹奏楽によるコンサート、地域イベントを中心とした演奏活動
43	沼津ハーモニカクラブ	ハーモニカの演奏、老人施設、病院での訪問コンサート
44	千本ハーモニカクラブ	ハーモニカの演奏、施設入所者や障がい者を招待したコンサート
45	ミラクル☆フルーツ	福祉施設・病院等でのコンサート（フルート三重奏）
46	ライオンズ	病院や施設での演奏活動
47	K&Y	ギター、キーボードによる音楽演奏
48	沼津吹奏楽団	吹奏楽によるコンサート、地域イベントを中心とした演奏活動

No.	グループ名	活動内容
49	NPO 法人 ぴくにつく	老人福祉施設への訪問、音楽活動
50	パンダース	福祉施設や学校等での音楽演奏、番組作成配信、楽曲制作
51	ちくちくクラブ	手芸ボランティア、工作
52	母力. P j	読み聞かせ、舞台公演事業
53	戸田読み聞かせ倶楽部 たちばな	絵本の読み聞かせや紙芝居の実演
54	パステル和 (NAGOMI) アート	簡単に描けて心が穏やかになり、気持ちが元気に健康になるアートワーク
55	静岡アロマハンドケア協会 olive・juice	アロマテラピーを用いたハンドマッサージ
56	家具やしめ隊・沼津	家具固定ボランティア
57	沼津太極拳楽友会	太極拳の指導普及活動で住民の皆様の健康増進を図る
58	医療的ケア児ママサークル hoccočila	医療的ケア児のママたちの仲間づくり及び情報交換できるネットワークづくり (ピアサポート)
59	子遊会	地域の子ども達に遊び場を提供、地域の子ども達と料理し会食
60	大平見守り隊「KIZUNA」	高齢者の見守り。プレゼント作り
61	沼津中央高等学校インターアクト部	福祉施設への訪問、行事への参加協力
62	飛龍高等学校 ボランティア同好会	福祉施設への訪問、行事への参加協力
63	沼津東高校 ボランティア委員会	ボランティアの告知・推進
64	加藤学園高等学校 化学部	身近な水環境を調査する団体、グループの手伝い
65	沼津を世界一綺麗にする会	沼津市内のボランティア清掃
66	ビューティフルアース	千本浜より西側のビーチクリーン活動
67	美浜クラブ	御浜公園のゴミ拾い、草むしり、木立の整備
68	未来の希望クラブ	ペットボトル・空き缶回収、新聞回収
69	大和ハウス工業株式会社沼津支店	清掃活動など
70	NPO 法人環境整備 森と竹で健康クラブ	沼津市、富士市、裾野市、長泉町などの森林・里山の整備
71	沼津地球温暖化研究会	学校や施設等で地球温暖化について解説、議論し理解を深める
72	戸田 花の会	園芸ボランティア活動
73	NPO 法人 戸田塩の会	戸田地域活性化事業、海、海岸の環境保全活動
74	戸田せっけんの会 ラ・メール	地域の環境保全を目的とした廃油リサイクルによるセッケン作り
75	ふじのくに多文化共生ネット	多文化共生の地域づくり
76	ベトナム枯葉剤被害者支援の会・はればれ支援隊	ベトナム枯葉剤被害者への支援活動、課外学習、セミナーの実施
77	Y T K	居場所への送迎活動
78	NPO 法人ライフワークサポート 21	引きこもりやニート等の若者に就労機会を提供。相談支援、模擬就業体験の場等を提供
79	NPO 法人臨床心理オフィス Be サポート	地域社会への心のサポート全般
80	沼津市災害ボランティアコーディネーター協会	災害V本部運営訓練、災害時の募金活動ほか
81	NPO 法人日本沼津災害救援ボランティアの会	救急法等の講習会、講演会の開催や災害発生時の救援活動
82	災害時救援グループ	災害における救援活動
83	大平災害救援隊	災害時における食料品、医薬品などの運搬など
84	日本救難バイク協会静岡県支部	災害における人、医薬等の搬送および人命救助
85	ボランティアグループ レインボー	老人保健施設での奉仕活動
86	沼津市在宅介護家族の会 ハッピー	介護研究等の参加
87	りんどう	各種ボランティア活動に協力
88	NPO 法人しずおかセラピードッグサポートクラブ	セラピードッグの普及に向けたPR活動
89	動物ノート	動物愛護貢献ボランティア
90	出張車いす点検・修理あんもの会	在宅介護をしている方や福祉施設で利用する車いすの修理・点検活動
91	自分史づくりの会	施設入所の高齢者等の自分史づくりのお手伝い

沼津市ボランティア連絡協議会

市内の各地域で活躍するボランティアグループ及び個人ボランティアによる自主的な連絡組織です。ボランティアの横のつながりを広げていくことを目的に、交流会、研修会を開催しています。

問い合わせ先 **沼津市ボランティアセンター**

沼津市日の出町 1-15 サンウェルぬまづ内 ☎055-922-1500 Fax055-922-1502

第7 共同募金運動推進事業

◇赤い羽根共同募金運動

(1) 募金運動

共同募金は、赤い羽根をシンボルとして、10月1日から12月末日までを運動期間とし、地域住民がお互いの幸せを求める自主的な運動として活動を続けてきました。

令和5年度も、赤十字奉仕団、自治会、民生委員・児童委員、小・中・高校生によるボランティア等の強力な支援により全市民運動として展開され、次のとおりの成績を収めることができました。

令和5年度 赤い羽根共同募金の状況

区分	募金実績額	△後の募金額	合計	内容
1 戸別募金 (うち沼津受け)	9,765,829円 (2,901,320円)	14,700円 (5,250円)	9,780,529円 (2,906,570円)	市内各世帯
2 法人募金 (うち沼津受け)	2,083,533円 (1,782,200円)	0円	2,083,533円 (1,782,200円)	会社、事務所等
3 学校募金 (うち沼津受け)	490,812円 (102,526円)	56,043円 (0円)	546,855円 (102,526円)	学校、幼稚園 保育園(所)
4 街頭募金 (うち沼津受け)	249,854円 (249,854円)	0円	249,854円 (249,854円)	街頭募金
5 カード募金 (うち沼津受け)	279,225円 (279,225円)	0円	279,225円 (279,225円)	図書カード クオカード
6 その他の募金 (うち沼津受け)	264,908円 (81,493円)	5,000円 (0円)	269,908円 (81,493円)	個人・団体、 設置募金箱ほか
合計 (うち沼津受け)	13,134,161円 (5,396,618円)	75,743円 (5,250円)	13,209,904円 (5,401,868円)	

県共同募金会の目標額 17,057,000円に対し、達成率 77.4%

(2) 共同募金助成状況 (前年度の募金実績による助成)

令和5年度 県共同募金会からの沼津市社会福祉協議会活動への助成金

事業区分	金額	助成目的	内容
老人福祉活動	1,236,000円	団体支援	高齢者に対する居場所づくりの運営、民生委員活動、老人クラブの諸行事について支援
障がい児・者福祉活動	81,000円	団体支援	障がい児・者に関する当事者団体等の諸行事について支援
児童・青少年福祉活動	950,047円	育成活動支援 子どもの居場所運営事業	児童・青少年に対する居場所づくりの運営、その他団体の諸行事について支援

事業区分	金額	助成目的	内容
福祉育成・援助活動	1,442,582円	ボランティアグループ活動助成 学生ボランティア育成 災害技術ボランティア育成	福祉体験、ボランティア等の育成、ボランティア団体の活動について支援
地区社協育成事業	2,620,000円	地区社協支援	地区社会福祉協議会の活動について支援
広報啓発活動	20,000円	「声の社協だより」発行	目の不自由な方へ、広報誌を音声で届けることへの支援
食糧支援事業	714,534円	ひとり親、困窮者等支援	ひとり親家庭や生活に困窮する家庭へフードボックスを配布する活動について支援
緊急援護費	60,000円	ライフライン復旧支援	生活にお困りの方のライフラインの復旧に掛かる一時的な費用として
災害援護費	100,000円	災害援護	災害による見舞金として
災害ボランティア支援事業	3,000,000円	災害ボランティアセンター運営	令和5年6月の大雨災害による災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営費用として
合計	10,224,163円		

◇歳末たすけあい運動

(1) 募金運動

共同募金運動の一環として、12月1日から同末日までを運動期間とし、民生委員・児童委員、赤十字奉仕団、自治会等が主体となり実施されました。各方面から格別なる協力を得て多額の援護金が寄せられ、次のとおりの成績を収めることができました。

令和5年度 歳末たすけあい募金の状況

区分	募金実績額	〆後の募金額	合計	内容
1 戸別募金 (うち沼津受け)	5,755,493円 (1,312,760円)	6,000円 (4,000円)	5,761,493円 (1,316,760円)	市内各世帯
2 法人募金 (うち沼津受け)	348,455円 (64,455円)	0円	348,455円 (64,455円)	会社、事務所等
3 学校募金 (うち沼津受け)	209,146円 (12,925円)	0円	209,146円 (12,925円)	学校、幼稚園 保育園(所)
4 その他の募金 (うち沼津受け)	749,015円 (748,580円)	0円	749,015円 (748,580円)	個人・団体ほか
合計 (うち沼津受け)	7,062,109円 (2,138,720円)	6,000円 (4,000円)	7,068,109円 (2,142,720円)	

県共同募金会の目標額 6,589,000円に対し、達成率 107.3%

(2) 令和5年度 歳末たすけあい募金助成等の状況

助成金贈呈事業費		件数	助成金額
住民全般	援護世帯	60	666,000円
	被災世帯	0	0円
	緊急援護世帯	13	65,000円
合計		73	731,000円

地域福祉・在宅サービス事業費		件数	助成金額
高齢者	地区社会福祉協議会	13	1,370,363円
	高齢者施設	0	0円
	ボランティア団体	1	50,000円
	居場所団体	12	530,000円
	小計	26	1,950,363円
障がい児・障がい者	障がい者施設	8	380,000円
	支援学校等	2	75,000円
	当事者団体	2	80,000円
	ボランティア団体	1	50,000円
	小計	13	585,000円
児童・青少年	地区社会福祉協議会	0	0円
	ボランティア団体	2	100,000円
	居場所団体	10	480,000円
	小計	12	580,000円
その他	助成諸経費		49,580円
	小計		49,580円
合計		51	3,164,943円

令和5年度 歳末たすけあい募金助成額合計 124件 3,895,943円

第8 在宅福祉サービス事業

民間福祉団体としての機能を生かしつつ、これまで培ってきた在宅福祉サービスの基盤を強化し、介護保険制度等での各種介護サービス、公的福祉事業（委託事業）等を行政及び関係機関との連携のもとに推進しました。

1 介護保険事業

静岡県及び沼津市から事業者の指定を受け、下記事業を実施しました。実施にあたっては、介護保険法の理念に沿い、各指定基準を遵守しつつ、利用者及びその家族等の自立支援を基本とした良質なサービスの提供に努めました。

（1）訪問介護事業（事業所名「沼津市社会福祉協議会指定訪問介護事業所」）

要介護・要支援等高齢者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、食事、通院等の介護その他生活全般にわたる援助サービス（基準緩和訪問サービスを含む）と自費対応のサービスを提供しました。

また、介護職の人員不足を補うため「そうだ！もう一度介護やってみよう」と題し、ヘルパー資格を有するブランクのある方等を対象に知識や技術の不安を解消し、介護職への復帰に向けての講座を行いました。令和5年度は7月15日と3月23日に開催しました。

（2）通所介護事業（事業所名「千本デイサービスセンター」）

要介護・要支援等高齢者へ、必要な日常生活の世話及び機能訓練を行うことにより、社会的孤立感の解消、心身機能の維持及び家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、千本デイサービスセンターにおいて通所介護事業を実施しました。また、令和4年度で認知症対応型サービスを統合しましたが、専門スタッフが高度な技術をもって対応し、これまでと変わらない認知症ケアを行っています。

（3）居宅介護支援事業（事業所名「千本居宅介護支援事業所」）

要介護の認定を受けた方が、住み慣れたご自宅や地域で安心して生活できるよう、配属されている介護支援専門員（ケアマネジャー）が、ご利用者やご家族の意向に沿って、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護サービス事業所との調整や連携を通して、適正に居宅介護支援を行いました。

また、沼津市や他市区町村から、要介護認定訪問調査業務の委託を受け、介護支援専門員が訪問調査員として訪問調査を行う等、介護保険事業の円滑な運営にも協力しました。

さらに、事業所のサービス向上を目的に、令和6年3月13日には、他法人との事例検討会の開催、部署内での事例検討会や勉強会等を継続的に開催しました。

2 公的福祉サービス事業（沼津市委託事業）

介護や支援を必要とする高齢者のみならず、広く市民を対象にした介護相談、介護予防、自立支援事業及び介護保険等の対象外となる高齢者、障がいのある人、要援護児童等を対象にした各種福祉事業を沼津市より受託し、公的在宅福祉サービスの整備・推進に努めました。

（1）地域包括支援センター（事業所名「千本地域包括支援センター」）

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活できるよう、地域の総合的な相談窓口として設置されており、第一地区・第二地区・西間門の一部に加え、令和5年度より第四地区も担当しています。千本プラザ内にある「千本地域包括支援センター」と令和5年4月1日に開所した「第四支所」において、810件の相談を受け、適切な機関やサービスに繋ぐ等の対応をしました。

また、高齢者が自立して生活できるよう、要支援1・2の認定を受けた方、事業対象者と認定された方のケアプランを作成するほか、一般介護予防事業として介護予防教室を年間77回開催し、高齢者延べ2,070人、ボランティア91人が参加しました。

高齢者の権利を守るための周知啓発活動や成年後見制度、消費者被害、虐待への対応も行いました。さらに、地域ケア会議を開催し、地域課題について検討すると共に、暮らしやすい地域を守るためのネットワークづくりにも努めています。認知症に対する活動としては、認知症の理解を深める周知啓発を行う「チームオレンジ」を設置すると共に、認知症サポーター養成講座を8回開催し、小・中・高校生を含む169名のサポーターが誕生しました。また、認知症カフェも毎月開催しており、暮らしやすい地域を作るためのネットワークづくりにも努めました。



（令和5年4月1日開所
千本地域包括支援センター 第四支所）

3 障害者居宅介護事業（事業所名「沼津市社会福祉協議会指定居宅介護事業所」）

静岡県から居宅支援事業者の指定を得て、障害者居宅介護事業を実施しました。実施にあたっては、障害者総合支援法の理念に則り、各指定基準を遵守しつつ、利用者及びその家族等の自立支援を基本とした良質なサービス提供に努めました。

障がいにより、在宅での生活に援助が必要な人が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーが訪問し、入浴、食事の介助及び必要な移動介助、家事援助のサービスを提供しました。

4 障害者相談支援事業（事業所名「沼津市社会福祉協議会障がい者相談支援事業所」）

沼津市から特定相談支援事業所及び障害児相談支援事業所の指定を受けている「沼津市社会福祉協議会障がい者相談支援事業所」において、障害者総合支援法の理念に沿い、各指定基準を遵守しつつ、利用者及びその家族等の自立支援を基本とした良質な計画相談支援サービスの提供に努めました。

5 地域介護予防活動支援事業

地域の実情に応じて、年齢や心身の状況によって分け隔てることなく、誰もが自由に参加できる「通いの場」を整備するとともに、高齢者がいつまでも生きがい・役割を持って生活することを目的とした介護予防に資する支援活動に関するボランティアを育成するため、介護予防ボランティア養成等を実施しました。

（1）生きがい創出事業（ぬまっつ）

高齢者やその家族、地域住民、専門職員等の誰もが自由に参加できる居場所（ぬまっつ）を運営し、歓談や交流、相談、見守り、手伝いなどを通じ、互いに支え合う仕組みづくりを行いました。

ア カフェの運営

コーヒーやお茶を提供し、会話や交流等を楽しみながら、それぞれに合った過ごし方ができる居場所です。地域住民の方や、介護をしているご家族、近隣の自治会、民生委員、専門職等、多くの方のご利用、ご協力をいただきました。

令和5年度 ふれあいプラザカフェ「ぬまっつ」利用状況

事業名	開催日数	利用者数	1日平均利用人数
ふれあいプラザカフェ「ぬまっつ」	210日	4,721人	22.5人

イ 健康増進事業

健康増進や認知症予防に継続して取り組むため、沼津市社協作成のDVD体操などを放映し、多くの方にご参加いただきました。

ウ 趣味活動

竹細工作り、幸筆（さちふで）等の趣味活動を行いました。

(2) 介護予防ボランティア養成等事業

シニア世代を対象に、自らの健康づくりや生きがいのため知識を学びながら、地域における介護予防の活動を支える人材を養成する各種講座を行いました。

ア セカンドライフセミナー

第二の人生で自分のためや他者のために具体的に行動を起こすための最初の一步を踏み出すきっかけづくりを目的とした講座を、令和5年度は2回実施しました。

イ 介護予防サポーター養成講座

介護予防活動の支え手として地域に貢献するサポーターを養成し、サポーター自身の健康増進・介護予防・社会参加を通じた生きがいを目的とした講座を、令和5年度は3回、フォローアップ講座を1回実施しました。



ウ 健康体操サポーター養成講座

介護予防のために体操を主体的に普及するサポーターを養成し、サポーター自身の健康維持や生きがいを目的とした講座を、令和5年度は4回、フォローアップ講座を1回実施しました。

エ ノルディックサポーター養成講座

地域単位でノルディックウォーキングを普及するサポーターを養成し、サポーター自身の健康維持や生きがいを目的とした講座を、令和5年度は3回、フォローアップ講座を1回実施しました。



第9 福祉サービス事業の受託運営

民間福祉団体としての機能を生かしつつ、施策の充実を図るために、各種サービス事業の受託運営を積極的に図りました。

1 サンウェルぬまづ（ぬまづ健康福祉プラザ）受託管理運営事業

市民誰もが健康で、ともに助け合いができるまちづくりを目指すための拠点となる「サンウェルぬまづ」の指定管理者として、①健康・福祉、②ボランティア活動、③障がい者活動交流、④地域福祉活動の各センター機能と、「情報」・「相談」の機能を発揮するための管理運営に努めました。

令和5年度 サンウェルぬまづ会議室等利用状況

月	利用者数	開館日数	月	利用者数	開館日数
4月	5,085人	29日	10月	5,550人	30日
5月	4,820人	30日	11月	5,580人	29日
6月	6,666人	29日	12月	6,014人	27日
7月	5,531人	30日	1月	3,983人	27日
8月	4,355人	30日	2月	5,194人	28日
9月	5,997人	29日	3月	5,052人	30日
年間利用者数		63,827人	年間開館日数		348日

※ 大会議室、中会議室、小会議室1・2、OAルーム、調理室、健康増進ルーム、可動間仕切り会議室、共用ミーティングブース、録音室1・2、多目的ホール

令和5年度 サンウェルぬまづ3階利用状況

月	利用者数	開館日数	月	利用者数	開館日数
4月	529人	29日	10月	657人	30日
5月	705人	30日	11月	581人	29日
6月	1,151人	29日	12月	529人	27日
7月	919人	30日	1月	569人	27日
8月	730人	30日	2月	678人	28日
9月	1,113人	29日	3月	737人	30日
年間利用者数		8,898人	年間開館日数		348日

※ 共用ミーティングコーナー、障がい者活動交流室、地域福祉活動室

令和5年度 ふれあい交流室利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大人	666	731	799	838	810	869	876	859	857	767	1,014	1,053	10,139
子ども	764	766	817	956	968	907	942	922	930	827	1,070	1,167	11,036
合計	1,430	1,497	1,616	1,794	1,778	1,776	1,818	1,781	1,787	1,594	2,084	2,220	21,175

(内訳)

沼津市	1,157	1,213	1,275	1,407	1,272	1,401	1,512	1,413	1,381	1,273	1,571	1,687	16,562
三島市	56	55	53	72	61	68	50	29	59	66	111	77	757
長泉町	57	57	55	59	83	83	86	77	49	87	143	89	925
裾野市	10	20	20	20	52	16	13	14	10	3	26	9	213
清水町	54	59	49	52	32	48	26	28	29	49	56	97	579
富士市	10	6	2	6	12	4	15	11	10	10	4	5	95
御殿場市	4	10	4	6	2	12	6	10	4	4	8	4	74
その他	82	77	158	172	264	144	110	199	245	102	165	252	1,970

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボランティア数	18	27	18	23	44	38	28	33	46	21	38	65	399
シニアコーナー	8	12	10	9	6	11	16	15	9	9	12	10	127

令和5年度 展示ギャラリー利用状況

展示名	開催日	展示名	開催日
NPO 法人ウォータービジョン 水墨画教室 小作品展	3/25～4/9	運営ボランティアが贈る サンウェルハロウィン	10/2～31
夢ある人づくり塾～DSプエルト～ 水彩画教室 作品展示会	4/10～23	薬物乱用防止ポスター、標語コンテスト 入賞作品展示会	11/2～9
佐賀錦織りと押絵の作品展	5/17～31	こどものアトリエ おえか木トッポ展	11/11～19
浮島美術サークル展	6/4～18	心のままアート展 2023	11/23～12/3
沼津市退職教職員写真クラブ展	6/26～7/9	令和5年度 きらり沼津 次の100年へ 「保育園児による夢の絵画展」	12/9～1/11
情報ボランティア季節のポストカード 作品展	7/11～8/6	防災とボランティア啓発展	1/13～17
令和4年度ふれあい交流室活動報告	8/8～20	令和5年度福祉のまちづくり絵画展	1/18～31
運営ボランティア活動写真展	9/2～22	運営ボランティアによる干支の押絵作 品展	2/1～29
きり絵作品の展示	9/23～30		

(1) 相談事業

ア 障がい者専門相談

障がい者専門相談連絡協議会（きさらぎ、地域療育支援センターこげら、あしたか太陽の丘、サポートセンターなかせ、ワークステーションあゆみ橋）の専門員により、障がいのある方への相談にあたりました。

令和5年度 障がい者専門相談月別集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
相談人数		6	6	5	7	6	5	6	5	5	4	6	5	66	66
相談件数		6	6	5	7	7	5	6	5	7	4	8	6	72	72
相談内容	身体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72
	知的	4	4	4	5	4	4	4	4	3	4	7	4	51	
	精神	2	2	1	2	3	1	2	1	4	0	1	2	21	
	高齢・児童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

イ 育児相談

赤ちゃんから高齢者までが集う「ふれあい交流室」において専門員（保育士）が相談にあたりました。（主な相談内容：成長、発達、離乳食・食事、就園、親の精神面 他）

令和5年度 育児相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	23	18	15	10	8	35	13	14	10	15	26	13	200

(2) イベント

情報センター事業

ア 福祉図書コーナー

障がい、地域福祉、育児、ボランティアに関する書籍を揃え、サンウエルぬまづ情報ボランティアの協力のもと、情報提供に努めました。

イ 福祉のまちづくり作品展

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
令和5年度 きらり沼津 次の100年へ「保育園児による夢の絵画展」 (オンライン同時開催)	沼津市立ときわ保育所 沼津市立金岡保育所	展示・オンライン 12/9~1/11	出品者 39人	オンライン視聴 166回

ウ 福祉啓発事業

① ボランティア活動発表

ボランティア活動を行っている団体の日頃の活動発表の場と、市民へのボランティア活動の理解と参加意識を高めることを目的に、ボランティア活動の展示を行い、発表の場を企画しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
活動発表会	沼津市ボランティア連絡協議会	12/2	537人	延べ
運営ボランティア活動紹介展	サンウェルぬまづ運営ボランティア	12/2	459人	延べ

② 障がい者を理解するための活動

特別支援学校や支援学級等に通う子どもたちの「できること」や「感性」を来館者に知っていただき、身近な存在として感じてもらうことを目的として開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
福祉ふれあい販売会（夏）	エンゼルらんぷ こころみファーム	8/5	81人	購入者数
福祉ふれあい販売会（冬）	エンゼルらんぷ こころみファーム	12/2	100人	購入者数
講演会「障害がある人にとって表現することとは？アートは世界を組み替える」	中津川 浩章 NPO法人こころのまま	12/2	50人	
心のままアート展 2023	NPO法人こころのまま	11/23 ～12/3	—	

③ 広報啓発活動

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
ミュージックパトロール	静岡県警察本部 総務部広報課 音楽隊・沼津警察署交通課	12/23	86人	

エ 情報の集積と提供

情報コーナーの設置

皆さまの声をサンウェルの事業に生かすためのコーナーやボランティア、地区社協等様々な団体の活動紹介のコーナーを設置し、市民相互間の情報交換の場を提供しました。

オ ボランティア活動支援事業

① 次世代ボランティア育成事業

令和5年度は、これからの時代を担う次世代のボランティア体験、ボランティア活動の意義を学ぶための場の提供や、多世代にわたる人達が気軽に楽しく集い、互いに交流し情報交換のできる場を作ることを目的に、「次世代ボランティア育成事業」をWelcome サンウェルイベント内で開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
次世代ボランティア育成事業	市内に在住・通学中の中・高校生	8/5・12/2	36人	延べ

② サンウェルぬまづ受付ボランティア養成講座

事業名	協力者	回数	開催日	参加人数	備考
受付ボランティア体験会	受付ボランティア	10回	8/5、10/6・13、 12/7・14・23、 1/21・30、2/2・9	32人	延べ

③ サンウェルぬまづ緑化ボランティア養成講座

事業名	協力者	回数	開催日	参加人数	備考
緑化ボランティア体験会	緑化ボランティア	4回	4/26・27 10/18・19	30人	延べ

④ サンウェルぬまづ運営ボランティア研修

事業名	協力者	回数	開催日	参加人数	備考
運営ボランティア研修	加藤 啓子 永田 徹 運営ボランティア	2回	5/9・2/6	52人	延べ

⑤ サンウェルぬまづ運営ボランティア

サンウェルぬまづの運営のお手伝いをするボランティアを、活動内容によって、受付案内、緑化、情報展示、託児の4つのボランティアに分けています。利用者でもある市民がプラザ運営の一端を担う運営ボランティアとして活動することで、市民自らのアイデアや希望を常に取り入れながら、市民とともに成長する施設を目指しています。

(受付ボランティア)



(託児ボランティア)



(情報ボランティア)



(緑化ボランティア)

令和5年度 サンウェルぬまづ運営ボランティア活動状況件数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	
	活動日数	人数																								
受付	2	7	3	11	4	15	4	15	5	6	5	6	6	24	4	17	7	37	3	16	5	23	3	18	51	195
情報	4	32	5	33	5	40	4	39	6	8	6	8	8	60	4	41	4	34	3	33	6	43	5	36	60	407
緑化	17	52	21	60	27	107	22	90	22	86	21	89	24	101	19	91	19	83	17	77	15	78	22	109	246	1,023
託児	3	20	4	25	10	36	4	19	10	8	8	8	8	38	7	19	7	29	5	22	7	22	4	20	77	266
計	26	111	33	129	46	198	34	163	43	108	40	111	46	223	34	168	37	183	28	148	33	166	34	183	434	1,891

カ 交流活動

子どもからお年寄りまでの居場所、交流の場づくりや、障がいのある子どもたちも一緒に
なって交流することを目的に開催しました。

① Welcome サンウェル【来館者自由参加】

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
～子どもの日！みんな集合～ みんなの手形で鯉のぼりのうろこを 完成させよう！	来館者	4/22～5/7 展示:5/8～14	94人	
～七夕イベント～ミライに願いを	来館者	6/20～7/17	234人	
サンウェルぬまづと千本プラザ でHAPPY HALLOWEEN	運営ボランティア	10/23～31	345人	
～飾って・願って クリスマスを楽しもう！～	運営ボランティア	12/2 展示:12/2～25	105人	

② Welcome サンウェルイベント

日ごろからサンウェルぬまづの活動にご尽力いただいている運営ボランティア、沼津市ボラ
ンティア連絡協議会の方々や、市内の中学生・高校生のボランティアにもご協力いただき、下
記のとおり開催しました。

【夏期】

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
フラダンス みんなでアロハ♪	エコモマイフラスタジオ 小笹 由紀子	8/5	30人	
貝殻でフォトフレームを作ろう	サンウェルぬまづ 託児ボランティア	8/5	21人	
サンドアートでカード立てを作ろう	puamana 室野 里佳	8/5	15人	

【冬期】

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
干支の笑い文字で年賀状を作ろう	一般社団法人笑い文字普及協会 竹本 あゆみ	12/2	13人	
アロマでバスボムを作ろう	内田 梓 高谷 美奈	12/2	13人	
子どもと一緒に運動遊び	内藤 ルミ子	12/2	12人	
おやこでオーナメントづくり	サンウェルぬまづ 託児ボランティア	12/2	44人	
アロマでハンドクリームを作ろう	内田 梓 高谷 美奈	12/2	11人	
ボタニカルジェルランタンを作ろう	puamana 室野 里佳	12/2	7人	
健康・介護相談	健康・介護相談員	12/2	20人	

キ 健康づくり支援

① 介護予防・健康づくり支援

サンウェルぬまづにおいて、下記のイベントを開催しました。

事業名	協力者	回数	開催日	参加人数	備考
目指せ！脚力UP！ 身体のゆがみ改善講座	岡元 貴宏 健康づくり課職員	2回	7/21・28	58人	延べ
みんな de エアロビクス (託児付き講座)	小高 可奈子 沼津市退職女性教職員の会 託児ボランティア	2回	6/20・13	40人	延べ
太極舞&ヨガピラティス (託児付き講座)	宮田 香織 沼津市退職女性教職員の会 託児ボランティア	2回	10/6・13	85人	延べ
バランス体操講座	永田 徹	2回	12/7・14	42人	延べ
フィットネスフラ	岡本 律子 託児ボランティア	2回	1/21・30	56人	延べ
～心も体も温まる～ リズムフィットネス (託児付き講座)	大野 和子 沼津市退職女性教職員の会 託児ボランティア	2回	2/2・9	70人	延べ
ヨガトレ	佐藤 歩	2回	9/5・12	64人	延べ

② メンタルヘルス事業

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
東都大学メンタルヘルス講座 「ストレスを味方につけよう ストレス社会のメンタルヘルス」	東都大学	3/2	31人	

ク 生きがいづくり支援

大人のための居場所、交流の場をつくることを目的に開催しました。

①生きがい活動教室

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
実用ペン習字教室	西川 万里	10/23・30 11/6・13・27 12/4	85人	延べ

ケ ふれあい交流室

ふれあい交流室において、妊娠期、親子、小学生、世代交流など様々な方を対象としたイベントを開催しました。

令和5年度 ふれあい交流室イベント

イベント内容	対象	開催日	参加人数	ボランティア	備考
育児講座 「子どもとともに育ち合う」	親子	6/25	53人	—	
小学生イベント 「夏ののりきる体力づくり！身体を動かして運動を好きになろう～」	小学生	7/17	23人	—	
おまつり広場 「サマーアドベンチャー」	どなたでも	8/20	70人	19人	
育児講座 「親子で楽しむムーブメント遊びと子育てトークの集い」	未就園児親子	9/26	26人	6人	
育児講座 「親子で楽しむ音あそび」	親子	11/17	27人	—	
マタニティ講座 「プレパパママと赤ちゃん DAY 講座」	妊婦とその家族 1歳未満の親子	11/25	19人	—	
ふれあいクリスマス	どなたでも	12/17	109人	17人	
おしゃべり相談会	未就学児親子	1/31	11人	—	
育児講座 「乳児・小児の心肺蘇生法講習会」	どなたでも	2/17	13人	—	
夢のふれあいフェスティバル (桐陽高等学校・チアダンス部 応援部)	どなたでも	3/23	75人	23人	

定期イベント	開催日時	回数	備考
アッスルタイム	水曜日 (月2回)	23回	サッカーJ3アスルクラロ沼津の選手による 体操や運動遊びをとおした親子の交流
ふれあいタイム	第2・第4 火曜日	22回	職員によるふれあい遊びや製作など
赤ちゃんDAY	—	6回	ベビーマッサージ、バランスボール、ふれあいダンスなど
色イロリトミック	—	8回	色と音楽に触れ合いながら身体的・知的感覚を養う
Little Cocoons	—	8回	親子で一緒に英語あそび
ママにおすすめエクササイズ	—	4回	親子で一緒に行うストレッチなど体のケア
水遊び(夏季限定)	8月	2回	屋内庭園での水遊び
絵本の読み聞かせ	—	38回	ボランティア団体いろいろぼうしによる 絵本の読み聞かせ



(アッスルタイム)



(水遊び)

2 千本プラザ管理運営事業

高齢者をはじめとする市民誰もが、世代の垣根を越えて集い、交流できる世代交流活動の拠点となる、高齢者等福祉世代交流活動施設「千本プラザ」の指定管理者として、季節に応じたイベントや、年間を通じた各種講座・教室等を企画実施し、市民に親しまれる「千本プラザ」の管理運営に努めました。（「千本プラザ」は沼津市世代交流センター及び沼津市老人福祉センターで構成されています。）

令和5年度 千本プラザ利用者状況

月	総入場者数	老人福祉センター	世代交流センター
4月	17,862人	569人	4,511人
5月	17,722人	649人	4,388人
6月	16,216人	684人	3,393人
7月	15,350人	670人	3,611人
8月	17,262人	705人	5,444人
9月	17,808人	621人	4,850人
10月	17,850人	809人	5,215人
11月	20,199人	681人	4,802人
12月	14,766人	658人	3,189人
1月	15,240人	678人	3,894人
2月	16,482人	677人	4,054人
3月	18,178人	660人	5,617人
合計	204,935人	8,061人	52,968人

(1) 主催事業 <季節のイベント>

ア 千本プラザフェスティバル

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
ふれあい動物園がやってくる！	カントリーファームスタッフ20人 高校生ボランティア8人	4/30	446人
紙バンドでうさぎの小物入れを作ろう！	てしごと café 滝澤 みどり	5/4	22人
はじめてのピラティス	渡 真理子	5/6	28人
整え 鍛える ヨガ	RE/BLOOM さくら	5/7	29人
だれでも出来るキックボクシング	RE/BLOOM ゆうじ・こうじ		25人
みんなで楽しむ！うんどう遊び教室	山本 奈津美	5/13	37人
初夏のフラワーアレンジメント	Senbon Flowers MIDORIYA 岩崎 有加	6/4	20人

イ 夏のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加人数
親子陶芸教室（午前・午後）	井原 正利	7/16	55 人
ふれあい水族館&子ども縁日であそぼう	あわしまマリンパーク 高校生ボランティア 5 人	8/5	521 人
子ども体操教室（第 1 部）	山本 奈津美	8/11	10 組 (21 人)
子ども体操教室（第 2 部）	フルヤ トモヒロ	8/11	23 人
夏の映画祭り 「上を向いて歩こう」「どら平太」 「大巨獣ガッパ」	—	8/16	延べ 60 人
多目的ホール開放	—	7/22 ～8/27	266 人

ウ 秋のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
誰でも上手く描けるデッサン入門	佐々木 美保	10/8・15 22・29	20 人
太極拳教室	野田 康太	10/10 17・24	30 人
秋の小さな寄せ植え作り	濱島 義美	10/16	27 人
ジャズコンサート	富士通ジャズオールスターズ (富士通沼津吹奏楽団)	10/29	191 人

エ 冬のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
消しゴムはんこ。で年賀状	津久井 智子	11/26	36 人
クリスマスコンサート	FRAN	12/3	178 人
常緑樹をつくるクリスマスの壁飾り	Senbon Flowers MIDORIYA 岩崎 有加	12/10	20 人
バランスボールエクササイズ	三船 美也子	12/16	27 人
たつ・歩くためのカラダづくり	眞野 知美	12/16	28 人
書き初め教室	西川 万里 趣味の教室「書道」OB	12/24	16 人

オ 春のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
高校生によるスマホ教室	学校法人沼津学園飛龍高等学校	1/10	24人
筋トレ（全3回）	高尾 朋之（理学療法士）	1/22・29 2/12	118人
バレンタインフラワーアレンジメント	Senbon Flowers MIDORIYA 岩崎 有加	2/11	20人
福祉ふれあい広場	(福)あしたか太陽の丘 (ワークスとおがさ、クリエート太陽) (福)共生会（すずらん） (福)復康会（かのん） (福)輝望会（こころみファーム） 千本プラザ趣味の教室「ウクレレ」 講師 鈴木 将名及びOB 小笹 由紀子 山村 典子 沼津ブラウフィールド 下山 京子 一般社団法人ルミナス	2/17	408人



(福祉ふれあい広場)

主催事業 <居場所づくり>

カ 赤ちゃんDAY

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加人数
赤ちゃんご機嫌♪ 親子体操 聖隷沼津病院小児科医による講話・質問コーナー	高木 智子 古澤 有花子（聖隷小児科医）	5/25	19組 (38人)
ベビーリトミック 聖隷沼津病院小児科医による講話・質問コーナー	峯松 由貴、村松 日登美 古澤 有花子（聖隷小児科医）	6/22	20組 (40人)
リトミック&コンサート 聖隷沼津病院小児科医による講話・質問コーナー	中村 友紀、柏木 恵美子 （フレンドミュージック） 古澤 有花子（聖隷小児科医） サンウェルふれあい交流室	7/27	16組 (32人)
ハワイアンリトミック 聖隷沼津病院小児科医による講話・質問コーナー	二宮 晶子 古澤 有花子（聖隷小児科医） サンウェルふれあい交流室	8/24	19組 (38人)
バランスボールでママシェイプ 聖隷沼津病院小児科医による講話・質問コーナー	三船 美也子 古澤 有花子（聖隷小児科医）	9/28	24組 (48人)
ベビーリトミック 聖隷沼津病院小児科医による講話・質問コーナー	峯松 由貴、村松 日登美 古澤 有花子（聖隷小児科医）	10/26	20組 (40人)
親子でヨガミック	高木 智子	11/23	13組 (29人)
リトミック&コンサート 聖隷沼津病院小児科医による講話・質問コーナー	西島 彩、島影 加奈 （フレンドミュージック） 古澤 有花子（聖隷小児科医） サンウェルふれあい交流室	1/25	21組 (43人)
ハワイアンリトミック	二宮 晶子	2/22	24組 (48人)



（聖隷沼津病院小児科医による講話・質問コーナー）

キ 0歳からのコンサート

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
0歳からのコンサート	フレンドミュージック (5名)	9/23	184人



(2) 教室開催事業

ア 趣味の教室

教室名	参加人数	回数	開催日
華道	9人	22回	第1・第3火曜日
デジタルカメラ	6人	24回	第1・第3水曜日
ヨガ	20人	24回	第1・第3木曜日
つるし飾り	15人	24回	第1・第3木曜日
茶道	9人	24回	第1・第3木曜日
書道	16人	24回	第1・第3金曜日
コンディショニング	20人	23回	第1・第3金曜日
水墨画	10人	22回	第1・第3土曜日
フラワーデザイン	5人	23回	第2・第4火曜日
詩吟	10人	23回	第2・第4火曜日
元気アップ教室	20人	23回	第1・第3水曜日
七宝焼	10人	24回	第2・第4金曜日
ピアノ（キーボード）	16人	22回	土曜日（月2回）
ウクレレ	20人	23回	第2・第4土曜日
紙バンド	15人	22回	第2・第4月曜日
合計	201人	347回	

イ 陶芸教室

教室・講座名	協力者	回数	開催日	参加人数
陶芸教室第Ⅰ期 「いろいろな花入れ」	井原 正利	5回	6/17～7/15	49人
陶芸教室第Ⅱ期 「あなただけの食器を作ろう」	井原 正利	5回	9/16～10/14	48人
陶芸教室第Ⅲ期 「日常の雑器たち」	井原 正利	5回	1/13～2/10	48人

ウ 「趣味の教室」展示会及び発表会

事業名	開催日	参加者数
作品展		
華道・デジタルカメラ・書道・つるし飾り フラワーデザイン・七宝焼・水墨画・紙バンド	3/1～3	2,168人
発表会		
ピアノ（キーボード）	3/2	42人
詩吟		7人
ウクレレ	3/3	57人
お茶会（茶道）		100人



(3) 交流事業

七夕交流

協力者（または団体）	開催日	参加者数
きぼう青年学級と高校生ボランティア	6/18	43人
双葉幼稚園とすこやか沼津第三支部	6/19	24人
岳東保育園とすこやか沼津役員	6/20	42人
恵愛保育園とすこやか沼津千本・大平支部	6/23	27人
ルンビニ幼稚園とすこやか沼津第二支部	6/27	31人
光長寺幼稚園とすこやか沼津門池・開北支部	6/29	80人
沼津聖マリア幼稚園とすこやか沼津我入道支部	6/30	48人
霊山保育園とすこやか沼津下香貫支部	7/5	49人

世代交流事業

事業名	協力者	開催日	作品数
交流事業 沼津市政 100 周年記念 ～光のカーテンを作ろう！～	田川 誠 深澤 慎也	6/15～12/10 展示 12/26～3/31	789 枚

(4) ミニギャラリー展示

どなたでも無料で利用できる展示スペースとして貸し出しました。

利用件数	内 容 (件)			
19	写真展	7	絵画展	5
日数	版画展	1	陶芸展	0
132	書道展	1	その他	5

展示名	主催者	開催日
春だよ！	(一社)ルミナス	4/8～15
戦国乱世を制し天下人となった戦国の英傑「徳川家康」	個人	4/24～30
第9回写真展	お気楽写真会の仲間達	5/12～19
四季の光彩「春季展」	カメラクラブ光陽会	5/21～28
四季の光彩「夏季展」	カメラクラブ光陽会	8/13～20
切り絵作品展 たけのこ会	たけのこ会	9/5～10
源平の合戦で活躍した伊豆の武将	個人	9/11～18
千本木版画教室作品展	木版画教室OB	10/11～17
切り絵	切り絵趣味の会	10/19～23
スタンドグラスOB会作品展	スタンドグラスOB	11/3～5
あじさいの会 切り絵作品展	あじさいの会	11/15～18
四季の光彩「秋季展」	カメラクラブ光陽会	11/19～26
第10回写真展	お気楽写真会の仲間達	12/8～15
北澤建具工芸展	個人	12/16～23
大橋友美絵画展	個人	1/7～14
アートフラワー展	アートフラワーOB	2/10～16
四季の光彩「冬季展」	カメラクラブ光陽会	2/18～25
第19回圭会書展	個人	3/12～17
令和フォトクラブ写真展	令和フォトクラブ	3/18～24

(5) なつかしの映画上映会

高齢者がなつかしの映画を見ることにより、若かりし頃の当時の出来事を思い出し、懐かしむ機会となりました。また高齢者等の外出機会として、楽しいひと時を過ごしてもらうことができました。

上映映画名	「いつでも夢を」・「武器よさらば」・「わが母の記」他 全31作品
上映回数	31回
入場者数	941人

第10 役員会等の開催状況

年月日	会議等	主な内容
令和5年4月1日	第254回理事会 (理事12人、監事3人) ※書面決議	常務理事の選定
5月30日	第255回理事会 (理事11人、監事3人)	令和4年度事業報告、計算関係書類・財産目録の認定、補正予算(第1回)、規程の一部改正、理事及び監事選任候補者の提案、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の開催、評議員会の招集
6月8日	第14回評議員選任・解任委員会 (委員4人)	評議員の選任
6月16日	第157回評議員会 (評議員11人、監事3人)	令和4年度事業報告、計算関係書類・財産目録の承認、補正予算(第1回)、理事及び監事の選任
6月16日	第256回理事会 (理事12人、監事2人)	会長の選定、副会長の選定、常務理事の選定
11月15日	第257回理事会 (理事10人、監事2人)	補正予算(第2回)、規程の一部改正、歳末たすけあい募金助成計画、評議員会の招集
11月28日	第158回評議員会 (評議員8人)	補正予算(第2回)、役員報酬・費用弁償規程の一部改正
令和6年3月19日	第258回理事会 (理事10人、監事2人)	補正予算(第3回)、規程の制定及び一部改正、令和6年度事業計画及び資金収支予算案の承認、令和6年度分渡辺福祉基金の取り崩し、役員賠償責任保険の契約、評議員会の招集、介護保険法に基づく勧告に係る改善措置
3月27日	第159回評議員会 (評議員9人)	補正予算(第3回)、令和6年度事業計画及び資金収支予算案の承認

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「社会福祉法施行規則」第2条の2第5第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。